



勇壮な纏(まとい)振りを披露する第一分団の皆さん

# 地域防災の中核 消防団出初式

市消防団(加藤兼頭団長)恒例の出初式が一月五日、森田市長をはじめ来賓、消防団員、消防署員など約七百人と車両三十一台が参加し、一ツ谷を中心に行われ

ました。式典に先立ち、人員服装と機械器具の点検が行われ

その後、五一中付近から中央公民館まで分列行進し、森田市長の観閲を受けました。式典では、第一分団による纏(まとい)振りが披露され、続いて優秀分団に対する表彰が行われました。

その後、森田市長が「地域防災の中核である消防団の職責の重大性を認識され、一層の成果を挙げ、住民の生命財産を守るという市民の信託に応えられるよう期待します」と講評を述べました。また、加藤団長の訓示に続いて成田、浅川の両県議会議員が祝辞を述べ式典を終了しました。

表彰を受けた分団は次のとおりです。

▼団長表彰

- 第五分団二部、第六分団六部、第九分団一部、第十分団四部。



## 市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和63年

No.655

わたしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協働し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

1-15

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

# 成人おめでとう

## 639人が大人の仲間入り



成人式で式辞を述べる森田市長

市では一月三日、中央公民館で二十歳を迎えた人達をお祝いするための成人式を開催し、新成人となった人達の門出を祝福しました。今回、市で成人を迎えた人は六百三十九人(男二百九十人、女三百四十九人)で、このうち成人式に出席した人は四百十二人(男百六十三人、女二百四十九人)

です。式では、森田市長が「二十一世紀は皆さんの世紀です。成人となった感激を忘れることなく、皆さんの手でまちづくり、国づくりをなし遂げていただきたい」と式辞を述べました。引き続き工藤ひとみさん(松島町五丁目)、中谷隆治さん(雑田)、藤本千寿子さ



21世紀を担う20歳の若者達

ん(湊)の三人が「はたちの主張」を発表。(発表内容)は三ページ五ページに掲載してあります。その後、川浪重次郎市議会議長と清野昭二市青年団協議会長がそれぞれお祝いの言葉を述べました。最後に、新成人を代表して荒関洋子さん(大町)が「今日の五所川原市を築き上げた先輩の皆さまの心を受けつぎ、明るく豊かな地

域づくりの原動力となれるよう努力します」と誓いのことを述べ、式を終わりました。また、式では新成人達をお祝いして浅井獅子俱樂部七ツ館小学校児童四人による祝舞が行われました。なお、市では式に出席された新成人に記念品としてアルバムを一冊ずつ贈りました。

**20歳になったら  
国民年金に  
加入しましょう**

成人式を迎える皆さんに心からお祝い申し上げます。二十歳からは選挙権などのほかに、国民年金に加入しなければならぬ大切な義務と権利が発生します。人生はいまや八十年時代

です。沢山のお年寄りの方々が、若いうちから掛け続けてきた年金を現在受けております。

また、国民年金は老後の生活の支えとなるほか、万一の事故による母子家庭や障害者の年金支給についても、国が責任を持って運営している公的制度です。

昨年四月一日から、二十歳になりますと、原則として全ての方が国民年金に加入しなければならぬ規則になっており、世代と世代の助け合いの精神が貫かれております。

国民年金の手続きが終っていない方は、至急市役所に届けてください。

(担当・保険年金課)



中谷隆治さん(雑田)

「おはようございます」  
私の一日は、このあいさつから始まります。

私は理容師を旨として修業している最中です。

学生時代のころは、わがまま放題に遊びまわり、大好きなテレビを見ていつも楽しい毎日でした。しかし、理容業という職業につき、学生のところとはなにもかもが違った生活でした。

私は、弘前市にある職場に住み込みという形で生活し、朝七時半に目をさまし、八時半から夜七時過ぎまでの仕事をし、その後夕食をすませて十一時過ぎまでの練習。これが私の一日でした。

もつと遊びたい、もつと眠りたい、こんなわがままの生活はもう出来ません。社会に出てはじめての厳しさ、そしてつらさが身にしみてきました。

最初のころは、「私も夢を持ち将来は自分の店で経営者としてがんばろう」なんて軽く思っていたのですが、現実の生活はあまりにもつらくて去年の夏、とうとうやめてしまいました。これでもう自由だ、適当な仕事をして日曜日には車で海に行こう、金曜日にはあのテレビを見よう、こういう甘い考えだけが頭の中になりました。そしていつも遊びに出ていました。

### 「はたちの主張」 つらさをこらえて

#### 理容師見習い

行くにはいつも遊んではいられない。つらいことも多いけれども、それを乗り越えてがんばらなければいけない。  
「やっぱり床屋をやろう」と思った私は、弘前に行き「もう一度がんばるので働かせてください」とお願いしました。相当しかられると思っていました。主人は「よし、がんばれよ」と暖かく励ましてくれました。私はうれしかった。本当は

こんな気持ちにさせてくれた両親や親類の皆さんには、深く感謝しております。成人式を迎えて今日集まっている私たちは、それぞれ立場で過去を振り返り将来を考えていると思います。そういう意味でも今日の日は、私にとっても皆さんにとっても忘れられない思い出になるでしょう。  
この喜びと希望を持って、手を取りあって新しい大人の世界に逞しく進んで行こ

家の両親や親類の皆さんは、将来自分のためになるとかいrownなことを言っていて言いきかせてくれました。

「冗談じゃない、もうあんな仕事やっていたらられるか」と強がっていたけれども、なんか自分がみじめなような感じになってきました。

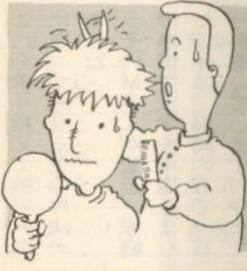
その時、はじめて将来の道ということをまじめに考えました。

こうやっていつも遊んで楽しんで……とんでもない、将来ご飯を食べて生活して

また働かせてくれるかなと心配だったからです。

今では、もう仕事も覚えて毎日がんばっています。仕事をしていると「疲れるなあ」と思うけど、「つらい」とは思いません。人間は、苦勞をして大きくなると思います。だから

もつと苦勞して大きくなり、恥ずかしくない立派な人間になりたいと思います。そして、負目をつくらず自分なりのやり方で生きて行きたいと思えます。



うではありませんか。成人式を終えれば、もう皆さん立派な社会の一員です。だから、自分自身を高め責任感を持って二十歳というのに自覚を持ち、これからは一生懸命がんばって行きたいと思えます。

## 成人式の スナツプ





藤本千寿子さん(湊)

雪が降り続く中、私たちは成人式を迎える事が出来今日から「成人」という大人の道を一步踏み出しました。

この二十一年間でいろいろな事がありました。私にとって「剣道」に巡り会った事が一番大きな事だと思います。中学校へ入学し、初めて剣道を知りました。その剣道を高校・大学と続けていくにつれて、剣道を通して先生方から教えて頂いた精神強化・礼儀等を、自分自身の手で指導していきたいと思うようになってきました。

青森市内の高校へ入学し、又東京の大学へと進みました。その中の大学の二年間は、いろいろな経験をし一番勉強になりました。大学の剣道部に入部して本当の剣道の姿を見、少しずつですが分かってきたよう

気がします。私が大学での剣道風景を初めて見せて頂いた時、これから私はやっていけるのだろうかと不安になりました。又、剣道とは甘いものではないのだと知りました。先生、先輩方から稽古中、壁にたたきつけられる者、道場の外に出される者、ぞうきんの水を頭からかけられる者とさまざまな光景が私の目に飛び込んできました。先生、先輩らと厳しい稽古をし、倒れてしまっても足をふらつか

は、部活内での仕事があり朝早く起きて道場掃除、先輩の道着洗い等をし、それで又、夜遅くまで厳しい稽古という毎日が続きました。最後までやり通せたのは、同じ学年の仲間がいてくれたからと身にしみて感じます。中でも、福岡から来たMさんと気が合いました。同じ学年で、私とMさんだけが遠くから出て来ており、二人でいつも「こんな苦しい事やめて家に帰りたいね」と泣いていました。

これ乗り越えて強い人間になってみせると心に決めました。そのMさんが最近、家庭の事情で大学を中退しました。今は、福岡の方で一日一杯働いています。今まではいろいろな別れを体験してきましたが、その時その度悲しい、寂しいと思いました。しかし、Mさんとの別れというのはそんな一言二言では片付けられる事ではありませんでした。元気ががんばってと言

だったらMさんの為にも今までしてきた事をやり通すのが、あの時のお礼、又、友情なのだと思います。Mさんは、大学をやめる時ばかりと「もっと勉強したいな」とつぶやきました。私は今まで、剣道ばかりで勉強から逃げており、それを知っているながら見て見ぬふりをしてきました。私には、自分たちは苦しくても我慢して私のわがまままで大学へ行かせてくれた両親がおります。その両親

「はたちの主張」日本女子体育短期大学二年生

かせながら起き上がり、稽古を続行する姿を見、人間には限界が無いのだ。しかし、限界があるならば限界に近づくにつれ、本当の剣道はつかめるのだし強くなれる、これが剣道の姿なのだ深く感動しました。

こんな生活に絶えられなくて、私は剣道部をやめると決心した時がありました。その時、Mさんは泣きながら「千寿子ってそんなに弱い人間だったの。そんな弱い人間なら早くやめちゃえ」と言いました。その言葉

を聞き、皆苦しくてやめたいのになんかばっているのだから、千寿子も皆と一緒にやっつけていこうというMさんの気持ちにひしひしと伝わってきました。又、自分はMさんの言う通り弱い人間だなと思

は、剣道だけ強くなっても喜んでほくれないと思うし、自分自身でも納得がいかなはずです。剣道はもちろんの事、勉強の方にも力を入れ、私の先程申し上げた将来の夢を夢ではなく、現実にして行くのが両親への恩、又、自分自身での納得いく方法だと思

今までやってきた自分の剣道が、ほんのちっぽけなものだったのだと思

入部が正式に決まった新入部員(私を含めて)十名は、その時は地獄のような毎日と思

Mさんの言う通り弱い人間だなと思

私に成人になりましたが、中味はまだまだ子供です。でも、胸を張って「私は成人である」と早く言える時が来るよう一日一杯生きに行きます。

63年版 県民手帳 1部350円

〈主な内容〉 日記編・資料編・名簿編・便覧編

※手帳を欲しい方は、市秘書企画課統計調査係 (☎35)2111番内線319番) へどうぞ。



# 高瀬集会所が落成

## 地域住民のふれあいの場として活用

昨年九月から、高瀬地区に建設工事を進めていた「高瀬集会所」が完成し、一月六日、同集会所で落成式を行いました。

落成式には森田市長はじめ来賓、地区住民など約八十人が出席。森田市長は、「この集会所

が、住民の皆さんに親しまれ、愛される施設として発展し、一層強固なる連帯がつくり上げられることを期待します」と式辞を述べました。

引き続き、来賓を代表して川浪重次郎市議会議員が祝辞を述べました。

同集会所は、総事業費約千七百五十万円、木造二階建て、延床面積約百八十一平方メートル、大広間(四十五・五畳)、三つの和室(各八畳)などを備えています。

なお、同集会所の管理運営は高瀬自治会が自主的にを行います。



落成式



完成した高瀬集会所

### 交通事故発生状況

(五所川原警察署提供/昭和62年12月31日現在)

派出所別 区分	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	12月	累計(1月~12月)	
	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	
件数	11	108	0	9	1	11	0	16	1	6	3	35	1	9	4	43	0	14	3	15	0	4	24
死者															2		1						3
傷者	11	121	0	9	1	17	0	25	1	6	5	41	1	10	6	52	0	14	3	16	0	5	28
死亡事故 0 継続日数	467		780		6,204		901		2,439		593		389		91		199		774		6,204		

# 交通安全はあなたが主役！無事故の誓い新たに

## 老人交通安全対策協議会開かれる

市老人クラブ連合会(葛西専造会長)では十二月十七日、市老人福祉センターで「老人交通安全対策協議会」を開催者約百人が出席して開かれました。

同協議会は、高齢者の交通安全思想の普及徹底と交通事故防止を図ることを目的に開いているものです。



開会式では、葛西会長が「無事無事故の交通安全対策」の責任者である皆さんの役割は大きいと思います。各老人クラブの皆さんには、交通安全の被害者にならないようお互いに十分気を付けてください」とあいさつを述べました。

引き続き、来賓を代表して吉岡助役が「交通安全の意識高揚を図り、新たな決意で事故防止にがんばってください」と激励しました。その後、鳴海公五所川原警察署交通課長が、交通事故概況を説明、老人クラブの皆さんに事故の恐しさを訴えました。

またこの日は、「昭和六十年度老人クラブ対抗交通安全無事コンクール優良団体」の表彰式が行われました。

優良団体として表彰を受けた。優待団体として表彰を受けた。開かれた団体は次のとおりです。

錦松会(錦町)、柏生会(柏原町)、永楽会(川端町)、日光会(栄町)、幾朗会(幾島町)、上慶寿会、下慶寿会(以上長富)、長寿会(水野尾)、長寿会、第二長寿会(以上前田野目)、第一・第二長寿会(高野)、長生会(杉派立)、楽生会(野里)、安楽会(鎌谷町)、幸生会(川山)、寿光会(本町)、松鶴会(松島町)

# 市シルバー人材センター設立準備委員会を設置

市では十二月二十二日、市シルバー人材センター設立準備委員会を設置し、組織会を開催しました。

同委員会は、高齢者の生きがいと臨時的、短期的な就業機会の増大を図り、活力ある地域づくりをめざす「シルバー人材センター」

の設立準備を進めるために設置するものです。

市では、今後同委員会からの意見を参考にして、六十三年度内に「シルバー人材センター」を設立する予定です。

市シルバー人材センター設立準備委員会委員になら

- 委員長 小林清蔵
- 副委員長 乗田孝一
- 委員
- 久保純一(五所川原公共職業安定所長)
- 平山誠敏(市社会福祉協議会長)
- 長尾良治(入権擁護委員)
- 菊池富美雄(市総務部長)
- 今利則(市民生部長)
- 逆瀬川清巳(市経済部長)
- 藤森良一(市福祉事務所長)



# 津軽海峡線(青函トンネル) 試乗列車走る

全長五十三・八五キロの世界最長の青函トンネルを通じて本州と北海道を結ぶJR津軽海峡線(青森県・中小国―北海道・木古内)の訓練運転列車を利用した試乗会が十二月十三日から始まりました。

この試乗会は、本年三月十三日からの開業を前に、一般の人たちへ乗り心地を体験してもらおうとJR東日本が企画したものです。

試乗列車には、開業後に快速「海峡」として運行される。

今回の試乗会はJRの招待客を対象で、昨年十二月二十八日までに千三百四十人が乗車しました。

また、一月十一日から二十九日までは、公募による一般の試乗会が予定されています。



青函トンネルを抜ける試乗列車

# 福祉基金にと100万円

## 朝日企業グループの大西さん



森田市長(左)に目録を手渡される大西会長(中央) 右は大西会長夫人の貴子さん

朝日企業グループ(会長 大西世鍋氏)では十二月十六日、社会福祉基金にと百万円を寄付されました。

これは、同グループの創業三十五周年及び五所川原店開店三十周年を記念して寄付されたもので、弘前市の内のホテルで開かれた祝賀記念式典の席上、大西会長から森田市長に手渡されました。

この寄付に対し森田市長は「ご好意ありがとうございます。社会福祉のために役立させていただきます。」とお礼を述べました。

# 福祉基金にと寄付2件

## 五所川原幼稚園父母の会と 聖心幼稚園

学校法人下山学園五所川原幼稚園父母の会(安斉郁子会長)と学校法人東北カトリック学園聖心幼稚園(モリス・ラベ園長)では十二月二十一日、市社会福祉協議会を訪れ福祉基金に役立ててくださると寄付しま

した。

五所川原幼稚園父母の会は、日用品や衣類などを持ちより開催したチャリティバザーの益金三万二千二百円、聖心幼稚園は十二月二十日、子供と親のクリスマス会を開きその時の献金の



一部三万九千八百七十五円をそれぞれ寄付したものです。

善意の寄金ありがとうございます。



# 早期着工と早期完成を強く陳情

## 津軽自動車道・五所川原大橋など3件



井上章平建設省事務次官(右)に陳情する森田市長(右から2人目)と中野鶴田町長(左から2人目)、川浪市議会議長(左)

市では十二月十五日、津軽自動車道の早期着工と国道三三九号五所川原、鶴田間バイパスの早期着工、五所川原大橋の早期完成を、建設省及び大蔵省と田沢、竹内、木村の地元選出国会議員に陳情しました。

この日の陳情には、森田市長をはじめ川浪市議会議長、鶴田町長が参加。

森田市長は、津軽西北五地域住民の悲願である「津軽自動車道」については、早期に着工するよう強く要請するとともに、六十四年度完成予定である「五所川原大橋」の一日も早い完成を陳情しました。

# 歳末たすけあいにと3万9千円余

## 東奥信金貯金会



森田市長(左)に手渡される葛西代表(中央)と今井政憲会長(右)

東奥信用金庫五所川原支店の貯金会(葛西専造代表)では十二月二十六日、歳末たすけあい募金に三万九千九百二十二円を寄付しました。

これは、去る十二月二十二日に開いた貯金会合同忘年パーティで、参加者から寄せられた募金を寄付したもので同会からの寄付はこれまで五回目。

この日、葛西代表と同支店の今井政憲次長が市役所を訪れ、森田市長に目録を手渡しました。

これに対し森田市長は「ありがとうございます。歳末たすけあいのために役立させていただきます。」とお礼を述べました。

## 市消費生活モニター調査結果

市では、5人の消費生活モニターを委嘱し、毎月独自に品目を設定して市民生活に関連性の高い物資などの価格調査を行っています。

この5人の調査結果の平均を3ヶ月ごとに公表しています。(前回は10月1日号)。

買物などの参考にしてください。

(単位:円)

品目	規格	10月	11月	12月
灯油	18ℓ缶入	727	727	712
灯油	200ℓ缶入	7,920	7,027	7,520
LPガス	5M3	2,981	2,874	2,944
ガソリン	レギュラー1ℓ	121	121	121
ガソリン	ハイオクタン1ℓ	141	141	140
牛肉	もも肉 100g	354	367	365
豚肉	もも肉 100g	143	150	134
鶏肉	もも肉 100g	93	91	84
鶏卵	1kg	242	241	217
牛乳	成分無調整牛乳 1ℓ	207	227	216
バター	225g紙箱入	372	374	374
食パン	普通食パン	145	144	145
まぐろ	刺身用 100g	233	299	216
いか	するめいか 100g	182	167	198
たこ	まだこ 100g	154	158	151
たらこ	並 100g	277	280	248
キャベツ	普通品 1kg	280	173	189
ほうれんそう	100g	89	52	73
にんじん	1kg	220	242	200
わかめ	塩 100g	48	69	69
糸こんにゃく	100g	80	76	70
干うどん	250g	90	90	90
干のり	1ちょう 黒のり	363	593	351
豆腐	丸棒形袋入	59	59	59
納豆	丸納豆 100g	58	61	58
味噌	2kg 1袋	546	566	583
しょう油	濃口(本醸造) 特級 1.8ℓ	499	530	527
トイレット ペーパー	バルブ4個組	236	236	236
ティッシュ ペーパー	400枚200組	147	146	147
台所洗剤	食器、野菜、果物用	329	329	321

## 工事指名競争入札業者 物品等供給業者 登録受付

市では、63年度に市が発注する工事の入札に参加を希望する建設業者、市の施設等(市役所、水道事業所、西北中央病院、市内各小中学校、給食センター等)への物品供給を希望する業者を受付けしますので、手続きをしてください。

▷受付期間 2月1日から2月29日まで

▷受付場所 市財政課契約調達係(市庁舎4階)

▷提出書類

◎工事指名競争入札業者

①建設省統一様式(一式)

②添付書類

(ア)経営事項審査申請書(写)

(イ)建設業者許可証明書(写)

(ウ)納税証明書 市税は62年度分。国税及び県税は61年度分(写)(市内法人業者については、会長及び代表取締役個人名の納税証明書も添付すること。)

(エ)使用印鑑届

(オ)建設業退職共済組合加入証明書(写)

※建設業者の経営に関する事項の審査(建設業法第27条の2の規定による)は、必ず受けるようにしてください。

◎物品供給業者

①入札参加資格申請書一式(申請用紙は財政課にあります)

詳しいことは、市財政課契約調達係(☎352111番内線330番)へお問い合わせください。

## 生活関連道路の確保に全力!

### —市除排雪対策本部—

市では、今冬の除雪及び排雪に備え、去る12月3日に、「市除排雪対策本部」を設置し通勤通学等の生活関連道路258キロメートルの確保に全力をあげることにしています。

なお、屋根雪の落下、路上駐車、自動販売機などの障害により除排雪作業に支障が生じたり、また排雪後の路上に雪を捨てることにより緊急車両が通行不能となることもあります。そのようなことのないよう市民の皆さんのご協力をお願いします。

市除排雪対策本部

☎354321~2番

## 県育英奨学生の募集

(財)青森県育英奨学会では、県民の子弟で、学業、人物が優れているにもかかわらず経済的理由により修学困難な人を対象に奨学金を貸与しています。

昭和63年度奨学生を次のとおり募集します。

▷対象者 本年4月に大学入学見込みの人に限る

▷募集人員 50人

▷貸与額 月額2万円

▷貸与期間 奨学生に採用した時から在学する大学の最短修業年限まで

▷申込み手続(提出期日)

県内の高校、教育事務所に用意してある願書用紙に所要事項を記入し、添付書類とともに次により提出すること。

(1)現在高校在学中の者—高校の指定する日までに在学する高校の校長へ

(2)その他の者—3月15日までに(財)青森県育英奨学会事務局へ

なお、願書を郵送で希望される方は、「奨学生願書請求」と封筒に朱書したうえ、120円切手を貼付した返信用封筒を同封して事務局へ申し込むこと。

▷送付先(問い合わせ先)

青森市新町2-3-1

(財)青森県育英奨学会事務局

(☎0177②1111番内線5181番)

## 訓練校学生募集

### —県立身体障害者職業訓練校—

県立身体障害者職業訓練校では、職業に必要な基礎知識と技能を身につけて就職を希望する身体障害者を対象に、昭和63年度の学生を募集します。

▷募集科目及び定員

科 目	訓 練 内 容	定 員
光学機器製造科	カメラ用ズームレンズの組立て、調整等の技能の訓練	10
製版・印刷科	写真植字、印刷、製本等の技能の訓練	10
一般事務科	ワープロ、事務機の操作及び簿記等の技能の訓練	10

▷訓練期間 各科とも1年間

▷応募締切 2月13日

▷選考日 2月19日

詳しいことは、公共職業安定所または県立身体障害者職業訓練校(弘前市緑ヶ丘1-9-1 ☎0172③6882番)にお問い合わせください。

## 63年度 保育所入所申請に伴う 面接調査について

保育所入所(63年4月)申請書を提出してまだ面接を受けていない方は、1月18日から1月30日までに市福祉事務所児童係へおいでください。

また、これから入所申請をされる方も同様です。

〈持参していただくもの〉

◎健康保険証(同居家族全員のもの)

◎62年分の源泉徴収票(扶養義務者全員のもの)

◎印鑑

なお、面接には、やむをえない事情がない限り、なるべく入所申請児童のお母さんがおいでください。また、お子さんを同伴する必要はありません。

## 看護職員募集

### —西北中央病院—

▷募集人員 若干名

▷応募資格 昭和33年4月2日以降に生まれ、助産婦、看護婦(士)免許のある人または本年3月末までに養成機関卒業見込みの人。

▷応募締切 1月31日(日)

▷試験日 2月14日(日)

詳しいことは、市立西北中央病院・管理課庶務係(☎③3111番 内線279番)へお問い合わせください。



# 新受入図書

市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
イベント発想100	上妻 英夫	俳句の天才 久保田万太郎	小島政二郎
古文書修補六十年	遠藤謙之輔	抵抗の器	もりたなるお
来世はどうなる	丹波 哲郎	花も嵐も踏みこえて	扇谷 正造
連合艦隊の謎	堺屋 太一	モーツァルト荘	三浦 哲郎
秋の田園博物誌	草川 俊	環状線に消えた女	西村京太郎
いま何を食べるか	平澤 正夫	原始人	筒井 康隆
肖像のなかの権力	柏木 博	雁かえる日	竹内 俊吉
エミール・ガレの ガラス	由水 常雄	食卓の上の 小さな渾沌	四方田犬彦
悪文	岩淵悦太郎	海狼伝	白石 一郎
役に立つ性格学	白石 浩一	鍋の中	村田喜代子
若いビジネスマンに 贈る手紙	片山 寛和	恋人関係	森村 誠一
山を愉しむ	鳥賀陽貞子	虹の橋	澤田ふじ子
剣豪実伝	岡田 一男	風のシグナル	牧野 立雄
車で行ける名湯秘湯	三上 徹郎	啄木と洪民	遊座 昭吾
幼児はみんな天才	石井 勲	句会で会った人	戸板 康二
時流をとらえよ!	六車 博美	パリの朝	奈良迫ミチ
新幹線の事典	原田 勝正	旅券のない犬	西村 寿行
縦横無尽	藤原 弘達	花 間	皆川 博子
蓄財パスポート	川村 匡由	眠れぬ夜に読む本	遠藤 周作

## 63年合同除厄祈願祭(案内)

### ▷対象者

男一昭和22年4月2日～昭和23年4月1日  
生まれの方

女一昭和31年4月2日～昭和32年4月1日  
生まれの方

▷日時 2月11日(木) 祝日 午後1時

▷場所 市中央公民館

▷会費 男 12,000円 女 10,000円

▷案内 対象者へは別途郵便で案内いたします。

▷申し込み受付期間 1月5日(火)～20日(水)

▷申し込み先 会費を添えて事務局まで  
お願いします。(なお、都合により事務局へ  
おいで願えない方は実行委員へ)

実行委員会委員長 神 泰 幸

事務局(市役所内 ☎☎2111番)

市民相談室 高 橋 俊 昭(内線281番)

保険年金課 小山内 健 造(内線264番)

” 工 藤 一 明( ” )

下水道課 木 村 一 善(内線240番)

収 納 課 太 田 俊 一 郎(内線203番)

人 事 課 菊 池 忠(内線311番)

会 計 課 高 橋 圭 子(内線253番)

## 地域住民克雪活動

# 事例発表会を開催

市では、雪を克服し快適で安全な市民生活を確保するため諸施策を進めております。

この度、県と共催で克雪の優良事例の発表会を次のとおり開催します。

今後の克雪、利雪に関して有意義な発表会です  
のでお誘い合わせのうえご参加ください。

▷参加資格 どなたでも参加できます。

▷日時 1月22日(金)午後1時から4時まで

▷場所 市中央公民館大ホール

▷入場料 無料

▷内容

### (1)特別講演

「積雪寒冷地における雪対策について」

一 地吹雪研究の概要と各地の克雪対策一

講演者 科学技術庁国立防災科学技術

センター 新庄支所第二研究室長

理学博士 東 浦 将 夫氏

### (2)克雪活動事例発表

①山形県尾花沢市における消雪道路の整備による  
克雪活動について

山形県尾花沢市新町第2第9組

宇 野 浩氏

②青森市における自主除排雪活動について

青森市南信用町町内会排雪協力会

田 中 清 一氏

③平賀町における側溝を利用した融雪活動について

平賀町苗生松町会 小 林 辰三郎氏

④あずましい街づくりの取組み

—NTT青森電報電話局の

流雪溝と利用状況—

NTT日本電信電話(株)青森電話局

総務課長 濱 谷 実氏

## 県信用保証協会からのお知らせ

### ◎春季資金受付中

県信用保証協会では県とタイアップして春季資金を受付けております。年度末の短期資金としてご利用ください。

受付期間 { 2月1日から

5月31日まで

詳しくは、県信用保証協会五所川原支所(☎

☎4121番)または金融機関各支店までお問い合わせください。

